



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度

国際ロータリー会長 / ゴードン R. マッキナリー
2690地区ガバナー / 石倉 貞昭

会長 / 清原 正幸 副会長 / 来間 久
幹事 / 松浦 剛司 会計 / 小汀 泰之

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
4月18日	大島淳司・清原正幸・神田慎一 会員	地区研修協議会報告
4月25日	ホテルほり江 18:30~	夜間例会
5月2日	休会	
5月9日	会員 安食 賢	新会員スピーチ
5月16日	地区クラブ活性化ワークショップ出席者	地区クラブ活性化ワークショップ報告

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
38	24	14(5)	72.73

■欠席者

遠藤・福田智・原伸・飯塚大・石原・三好・大谷厚・大谷良・園山
(黒田/牧野/釜屋/福田/持田)

■来訪者

なし

■メイクアップ

なし

■次回例会受付当番

(4月25日) 木村文彦/三好洋平

(5月9日) 飯塚洋道/小汀泰之/大島淳司

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	松江南
火	出雲 6/1 6/24(-)	松江 4/30 5/7
水	出雲 4/30(-)	松江 4/24・5/1・29(-)
木	大社 5/8・22 5/1・29(-)	松江東 4/18・5/2・9(-)
金	(-) ; ビジター受付なし	
金	出雲南 5/17 5/31(-)	

■会長挨拶

先週 4月14日に出雲 RC の創立 70 周年記念式典が出雲のニューウェルシティ出雲でおこなわれ参加してまいりました。一緒に登録参加していただいた会員さんありがとうございました。

島根で松江 RC について 2 番目に歴史のある RC であります。非常に素晴らしい式典でした。点鐘から会長挨拶終了まで、森山会長の今まで見たことのないこわばった顔、緊張感が伝わってきました。私も 2 月の平田の 50 周年を思い出し、緊張してしまいました。

出雲 RC さんは、台湾高雄東 RC と 1981 年に姉妹クラブ締結をしておられ、当日も 21 人のメンバーがお祝いに駆けつけておられました。なかなか継続することは大変なことだと思います。改めて伝統のあるクラブだと思いました。

記念講演会では、京都建仁寺館長の小堀 奏巖 老大師をお呼びしての講演会。出雲 RC の森山会長が若いころ建仁寺で修行をされていたようでご縁からお呼びされたそうです。

そして祝賀会も非常に盛り上がり、最後に「手に手つないで」をみんなで歌い周年を祝いました。終わった時の森山会長、遠藤実行委員長、内藤幹事のほっとした表情が印象的でした。手前みそではありますが、他クラブの周年を

見て改めて平田 RC の周年は素晴らしかったと思いました。映像、音響、時間配分、オープニングのゴスペルなど。改めて全会員の皆様に感謝申し上げます。大変遅くなりましたが、来週の例会は夜間例会にて 50 周年記念式典を改めて振り返り労を労いたいと思いますのでよろしくお祈りします。

4月23日は「世界本の日」です。国際的な記念日として 1995 年ユネスコの総会で制定されました。本の良さを再認識し、書籍や作家への敬意と、出版や著作権の保護を促進するのが目的です。

出雲 RC の記念事業で、出雲市内の全幼稚園(25ヶ所)全保育園(58ヶ所)島根大学医学部付属病院院内学級、院内保育所に読み聞かせの本を寄贈されました。素晴らしいことだと思います。子どものころから本を読む習慣をつけさせるのは重要な事だと思います。情報のツールが紙媒体からインターネットへと移行して、本もスマホやタブレットで容易に読める時代ではありますが、読書による脳の活性化は、認知症などの病の予防効果があります。知性や感受性を磨くためにも読書の習慣はもちたいものです。本日の例会も宜しくお願いします。

■幹事報告

1. 地区クラブ活性化ワークショップのご案内

日時 5/12(日) 受付 12:30~ 本会議 13:00~15:30

会場 岡山コンベンションセンター3F コンベンションホール

出席者

会長エレクト 次期幹事

次期クラブ会員増強委員長

次期クラブ雑誌・広報・公共イメージ担当委員長

次期クラブロータリー財団委員長

当クラブ 来間 久会長エレクト、原 伸雄次期幹事、杉原朋之次期会員増強委員長、大谷良治次期クラブ広報・公共イメージ委員長、田中浩史次期クラブロータリー財団委員長 出席致します。

2. 榊原ガバナーエレクトより

「大阪・関西万博開幕日(2025.4.13(日))入場券」申し込みの案内

地区での取りまとめをされますのでご希望の方は事務局まで。

申込締切 6/28(金)

☆各テーブルに資料配布

■委員会報告

会員増強会員維持委員会 : 親睦趣味の会開催のご案内

6/6(木) 夜間例会 (詳細は後日ご案内)

■スマイル

清原・松浦 (地区協議会報告、皆様宜しくお願いします。)

来間 (4/16(火) 出雲ロータリークラブ主催で 2024-25 年度の第 1 回 5 クラブ会長幹事会がありました。平田からは小汀 G 補佐、神田グループ幹事、来間、原次年度幹事で行って参りました。ご報告致します。)

高砂 (ラジオで弊社の商品を紹介していただきました。)

恒松 (2月29日皇居一周ウォーキングしました。)

太田 (所用により早退します。申し訳ありません。)

地区研修・協議会報告

社会奉仕部門

大島 淳司

社会奉仕部門は小汀次年度ガバナー補佐が研修リーダーを務められていました。

事前のアンケートで研修のテーマが決まっていました。一つ目が「過去4～5年における社会奉仕活動の内容について」でした。発表されたクラブの内容としては、清掃活動、植樹活動などが多かった。清掃活動でも岡山南RCは一般の方が5600名参加されるということで、同じ清掃活動でもより多くの人を巻き込むことが大事だと感じた。二つ目が「地区補助金等を活用された活動について」でした。これについては、SDGsの絵本を作成して図書館に寄付をするという事業を行っているクラブがありました。三つ目が「2024～25年度、あるいはそれ以降で計画されている活動について」でした。基本的にはどのクラブも継続事業を行っていくというクラブが多かったと思います。四つ目が「クラブの公共イメージ向上に向けての計画について」でした。平田の季節のたりのような新聞折り込みでチラシを作っているクラブはあまりないようで、平田の取り組みを取り上げて頂きました。新聞折り込みチラシということで、デジタル化の現在ではアナログ的な手法ではありますが、それが逆にたくさんの方の市民の方に見てもらい機会を作っているのではないかと思います。

まとめとしては、清掃活動など様々な活動を行う上で、色々な人に参加してもらい、ロータリーだけで活動せず、地域の人を取り込むということが大事であるということです。また、継続事業においては、毎年同じことをするのではなく付加価値をつけなければならぬと思います。次年度ガバナーの方針である、地域に役立つ奉仕活動の実践を行っていきたくと思います。

国際奉仕部門

清原 正幸

国際奉仕部門は、事前のアンケート調査に基づいて会議が進行しました。リーダー、副リーダーがアンケート結果を集計し、その結果をもとに活発に行っているクラブに発表をしてもらいました。岡山のクラブは非常に活発に国際交流、奉仕活動を行われています。新見 RC ではカンボジアでの支援活動を24回、ボランティアを中心に行われています。近年では地元の高校生も連れて一緒に活動されています。

岡山北 RC では、タイの貧しい村に運動靴の寄贈、そのお返しは中古自転車を送ってられます。その後活動の拠点をカンボジアに移し、地元の寺や小学校にゴミ箱を寄贈し、一緒にゴミ美化運動を展開されています。

岡山東 RC ではベトナムの孤児院で一人里親となり交流活動、岡山後楽園 RC は友好クラブが、ソウル・グアム・ラオスにあり、支援金を送っています。また近年ではベトナムに医療器具を送っています。

地区世界社会奉仕資金(DWSC)を活用しているクラブは 34%あります。この資金の事を勉強不足で私は全く知りませんでした。最高 100 万の資金が出ますので今後、何か国際奉仕をする上では活用してみたいものです。

ロータリー財団の寄付状況は 71%がしている。17%が検討中。12%がしない。となっていました。全くしていないクラブがあり衝撃を受けました。寄付をしていないのに補助金は使っているクラブがあるそうです。すべてのクラブが寄付をして頂きたいものです。

来年早々に大きいことは出来ませんが、地元の米山奨学生を呼んでの活動が出来ればと思います。

青少年奉仕部門

神田 慎一

部門別協議会～青少年奉仕部門(65クラブ参加)
 カウンセラー…岩崎洋一(鳥取西 RC)

リーダー…次期ガバナー補佐 中條新次郎(備前 RC)

副リーダー…次期ガバナー補佐 江木修二(浜田 RC)

次期ガバナー補佐 山田雅晴(真庭 RC)

カウンセラー岩崎(パストガバナー)より

諸先輩は歴史、会員は仲間、青少年は未来だ。

司会(リーダー)次期ガバナー補佐 中條新次郎(備前 RC)より

○ 青少年奉仕とはインターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

○ インターアクトクラブ…ロータリークラブより提唱された12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブです。青少年の段階でロータリーが実践している「奉仕活動をすることによって倫理観を向上させ、高潔に生きる」の精神を培って将来へと役立ててもらい、リーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することを目的とする。

○ ロータリーアクトクラブ(RAC)…18～30歳(厳密には、30歳になった後の6月30日まで)の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブ(RC)が提唱する世界的な団体。

～ここから各クラブをリーダーが指名～

◇ 出雲南 RC…インターアクト設立の一例。北稜高校理事長が出雲南のチャーターメンバー。インターアクトには様々な意味合いがあるが、この場合(課外授業・部活動)という意味合いになる。

* 出雲南インターアクト…2000年より高瀬川の清掃。学生が自主的に行うことでリーダーシップを育てる。卓話の時間に学校活動の報告。他に保育園のお手伝い。学校周りの清掃作業。

◇ 岡山丸の内 RC…「丸の内文庫」の整備。岡山済生会ライフケアセンターに設置している「丸の内文庫」に図書寄贈、書籍の整備。昨年はSDGsの絵本を地区補助金で作成寄付する。内容は桃太郎が鬼ヶ島へ行く行程をSDGsを絡めて鬼を退治する内容で原案はインターアクトの学生たち。地域の学校へ2000冊寄贈し、さらにその本の読み聞かせ事業も行う。読み聞かせはインターアクトの生徒が担当し、講師もインターアクトの生徒が行う。

◇ 岡山西RC…岡山理科大。ロータリーアクト。4年前まで1名だったのが、1名→30名→70名→90名と増加。理由は乗馬クラブのオーナーがクラブ会員に在籍しており、乗馬クラブの学生を中心に勧誘したことによる成果。卓話を依頼したりJR岡山駅前の桃太郎像(当クラブが寄贈)の清掃をしている。

○ ロータリー青少年交換(交換プログラム)

交換留学。ロータリーからの支援が充実している。

滞在中の生活費、学費、毎月の小遣いは派遣先ロータリークラブが負担します。ただし出発までの研修費用、往復航空運賃、渡航手続き費用、保険料、派遣先で開催される旅行の費用、所持金等は自己負担。例えば、アメリカ留学の場合年間500万円程度の費用が掛かるが、このうち約400万円を負担することになるのだそう。

○ ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

事業例なし

このような様々なプログラムを活用しそれぞれのクラブが地域の青少年育成に寄与している。

